

玉川村個別施設計画（学校施設）



平成 31 年 3 月

福島県玉川村

玉川村個別施設計画（学校施設） 目次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的	1
1－1．背景	
1－2．目的・位置づけ	
1－3．計画期間	
1－4．対象施設	
第2章 学校施設の目指すべき姿	3
1－1．学校施設の現状と課題	
2－2．学校施設の目指すべき姿	
第3章 学校施設の実態	5
3－1．人口減少の状況と将来人口推計	
3－2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	
第4章 学校施設の老朽化状況の実態把握	9
4－1．老朽化状況の実態把握対象施設	
4－2．構造躯体の健全性の把握	
4－3．躯体以外の劣化状況把握	
4－4．構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	
4－5．劣化状況の実態を踏まえた課題の整理	
第5章 学校施設整備の基本的な方針等	28
5－1．玉川村公共施設等総合管理計画を踏まえた学校施設の管理方針	
第6章 長寿命化の実施計画	32
6－1．改修等の実施方針	
6－2．改修等の実施計画	
6－3．長寿命化計画の継続的運用方針	

第 1 章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的

1－1. 背景

玉川村（以下、「本村」という。）は、1955 年に泉村と須釜村の合併により誕生した村で、福島県の中通り南部、阿武隈山系の西側斜面に位置し、丘陵地と阿武隈川東岸に開けた平坦地まで、変化に富み豊かな自然を有する地域です。また、村北部には福島空港があり、2001 年にあぶくま高原道路が開通するなど交通の利便性に優れた村です。

本村では、2016 年 3 月に第 6 次玉川村振興計画を策定し、『未来（あす）が輝く村づくり“元気な”たまかわ』を将来あるべき村の姿として掲げ、『村民と共に歩み育む心豊かな村づくり』を基本理念として、村民と行政が一体となった協働による村づくりを進めているところであります。

一方で、社会及び経済状況の変化に伴い、全国的に少子高齢化傾向が進む中であって、人口減少、少子高齢化は本村においても喫緊の課題となっています。本村の学校施設にあっては、児童生徒数の減少が見られ、学校運営に関する課題等もあり、泉中学校と須釜中学校は、2019 年度をもって統合し、泉中学校の校舎を利用して「玉川中学校」として開校することが決定しました。

学校施設に目を向けると、現在、小学校 2 校、中学校 2 校の 4 つの学校施設がありますが、小学校の校舎や体育館にあっては建築年時から 45 年以上が経過しています。中学校の校舎や体育館にあっては平成初期に建設され、建設から 25～30 年が経過しており、小学校、中学校ともに施設及び設備の経年劣化による老朽化や機能低下が進行している状況にあり、今後、学校施設の修繕や建て替えが必要になると考えられ、これらの適正な維持管理が課題となっています。また、本村の学校施設に対する修繕・維持管理費用の見通しをつけることが今後の財政安定化につながることから、計画の策定が重要となってきています。

1－2. 目的・位置づけ

上記背景や関連計画を踏まえて、学校施設のあり方を総合的な観点で捉え、長寿命化できるものは長寿命化し、適正に修繕や建替えを行うとともに、学校環境の質的改善も考慮しながら、それに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的とします。

なお、本計画は、本村における公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画として 2015 年度に策定した『玉川村公共施設等総合管理計画』に基づく学校施設の個別施設計画として位置づけます。

1－3．計画期間

2015 年度に策定した『玉川村公共施設等総合管理計画』の計画期間は、10 年間（2016 年度～2025 年度）となっていますが、長寿命化改修の周期等を踏まえ、本個別計画の計画期間を 15 年間（2019 年度～2033 年度）とします。

なお、学校施設の再配置や施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、状況に応じて随時見直しを行うことを基本とします。

1－4．対象施設

本計画は、学校施設に属する小学校、中学校を対象施設とします。これら施設が保有する建築物のうち、延床面積 50 ㎡以上の建物について、長寿命化計画を策定します。

① 小学校

本村が保有する小学校は 2 校で、小学校全体の対象施設の延床面積は 6,430.14 ㎡となっています。2018 年度の見込数は、360 人で、学級数は 17（特別支援学級を除く）です。

② 中学校

本村が保有する中学校は 2 校で、中学校全体の対象施設の延床面積は 9,553.35 ㎡となっています。2018 年度の見込数は、194 人で、学級数は 8（特別支援学級を除く）です。

■学校施設一覧

施設名称	対象となる建築物	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒 数 (人)	学級数 (学級)
玉川第一小学校	校舎、体育館	3,456.00	S43	250	11
須釜小学校	校舎、体育館、プー ル附属棟	2,974.14	S47	110	6
小学校合計		6,430.14		360	17
泉中学校	校舎、体育館、部室	5,326.00	H2	124	7
須釜中学校	校舎、体育館、部室、 プール附属棟	4,227.35	H2	70	8
中学校合計		9,553.35		194	15

注 1) 建築年度は校舎の中で最も古い建物の建築年次を採用

注 2) 学級数には特別支援学級数を含まない

第2章 学校施設の目指すべき姿

2-1. 学校施設の現状と課題

(1) 施設の老朽化

本村の学校施設を築年数にみると、玉川第一小学校の校舎は昭和43年(1968年)、須釜小学校の校舎は昭和47年(1972年)に建設されおよそ45年以上経過しており、これらの施設は老朽化による大規模改修を必要とする時期を迎えています。

本村の4つの学校施設の校舎はすべて鉄筋コンクリート造ですが、使用している部材にあつては、耐久年数が異なる部材が使われており、現状では部分的な改修・修繕を個別に対応している状況にあります。このため、学校施設全体の劣化状況を把握し、改修が必要な時期と範囲を明確に把握し、予防的保全を行い、学校施設の長寿命化を図ることが必要です。

(2) 耐震性、防災機能の確保

本村の4つの学校施設は、地域防災計画において、いずれも避難場所及び避難所として指定されており、今後も防災拠点として防災機能を維持・強化を図っていくことが求められます。

なお、小学校2校にあつては、いずれも昭和56年(1981年)以前の旧耐震基準にて建築されていることから、校舎にあつては1998年と2002年に、体育館にあつては西暦2010年、2012年に耐震補強が実施されています。中学校にあつては、昭和56年(1981年)の新耐震基準で建築されていることから、耐震調査及び耐震補強は行われていません。

(3) 学校への地域が求めるニーズの多様化への対応

学校施設における質の高い教育を実現のために、基本的な教育条件として、多様なニーズに対応した施設環境整備のほか、学校が社会全体で子供たちの学びを支援する場となり、地域の振興・再生にも貢献するコミュニティの拠点として役割を果たすよう、地域の実情に応じ、地域の活動拠点として役割も求められています。

2-2. 学校施設の目指すべき姿

(1) 児童・生徒数の将来推計と学校施設の適正配置を見据えた学習空間の再整備

本村の学校施設にあっては、平成 27 年度（2015 年度）に、玉川第一小学校と川辺小学校が統合され、小学校 2 校、中学校 2 校となりました。また、泉中学校と須釜中学校にあっては、2019 年度をもって統合し、泉中学校の校舎を利用して「玉川中学校」として開校することが決定しています。

今後も学校施設の適正規模・適正配置等について検討を進め、児童・生徒数の将来推計を踏まえ、適切な学習空間の確保、再整備並びに校舎の老朽化した箇所の修繕や改修等を行っていきます。

(2) 施設の安全性の確保

玉川第一小学校、須釜小学校の校舎及び体育館は、耐震補強工事が実施済であるが、より地震に強い学校施設、防災機能を備えた学校施設を目指します。

また、学校施設の防犯・事故対策を行い、安全で安心な学校施設を目指します。

(3) きめ細やかな教育環境の整備（学習空間の充実）

児童生徒の個の応じた指導の充実や確かな学力を定着させるためを図るため、教職員の資質の向上に努め、調べ学習や活用能力を重視し、生活習慣（メディアコントロール）の定着と学習習慣の確立、学校間交流や教師間交流の推進、ICT教育の活用、学校教育指導員や支援員の配置など学習環境を充実します

(4) 地域の教育力の向上と学校教育を支援する体制づくり

豊かな心を育むために、「思いやり・あいさつ・言葉遣い・感謝」を基本とし、あいさつ運動や道徳教育、読書活動、個性を重視した教育、あるいは命を大切に人として生きる教育の推進、地域の教育力の向上と学校教育を支援する体制づくりを確立し、生まれ育った郷土を誇れる人づくりに努めます。

具体的には、地域の人々が個々の特性を生かして教育活動を支援することで、地域住民の学習成果活用の機会拡充及び地域教育力・地域コミュニティの再生を図り、地域が学校を支援する組織体制の構築に努めます。

第3章 学校施設の実態

3-1. 人口減少の状況と将来人口推計

本村の現在の人口・世帯数は、人口 6,598 人・世帯数 2,145 戸（2019 年 3 月 1 日現在）となっています。人口にあっては、昭和 50 年（1975 年）から増加傾向にありましたが、平成 12 年（2000 年）には減少傾向に転じ、現在も減少傾向は続いています。人口減少のペースが徐々に加速しており、将来人口推計においても、さらなる減少が避けられない状況にあります。

平成 28 年 3 月に策定した「玉川村人口ビジョン」では、国立社会保障・人口問題研究所による人口推計（パターン 1）と、日本創生会議による人口推計（パターン 2）の 2 つの将来人口推計を掲載しています。

現在から将来的な児童生徒を含む、「年少人口（15 歳未満の人口）の推計」に着目すると、いずれのパターンでも 2020 年の年少人口よりも、その 10 年後の 2030 年、20 年後の 2040 年と年少人口の大幅な減少が予想されています。

パターン 1 の年少人口推計

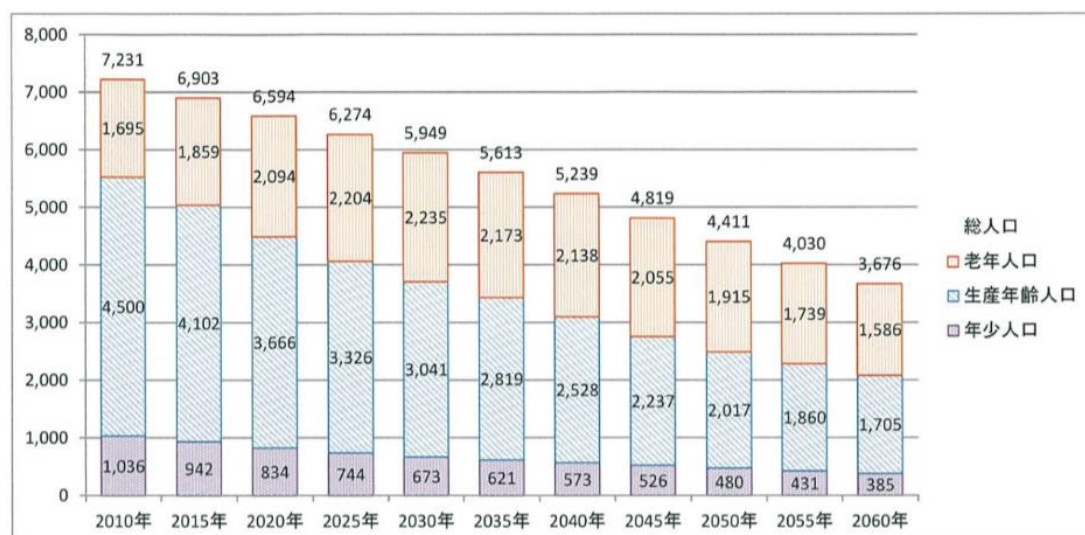
2020 年…834 名、2030 年…673 名、2040 年…573 名

パターン 2 の年少人口推計

2020 年…822 名、2030 年…618 名、2040 年…466 名

図表 21 国立社会保障・人口問題研究所による人口推計（パターン 1）

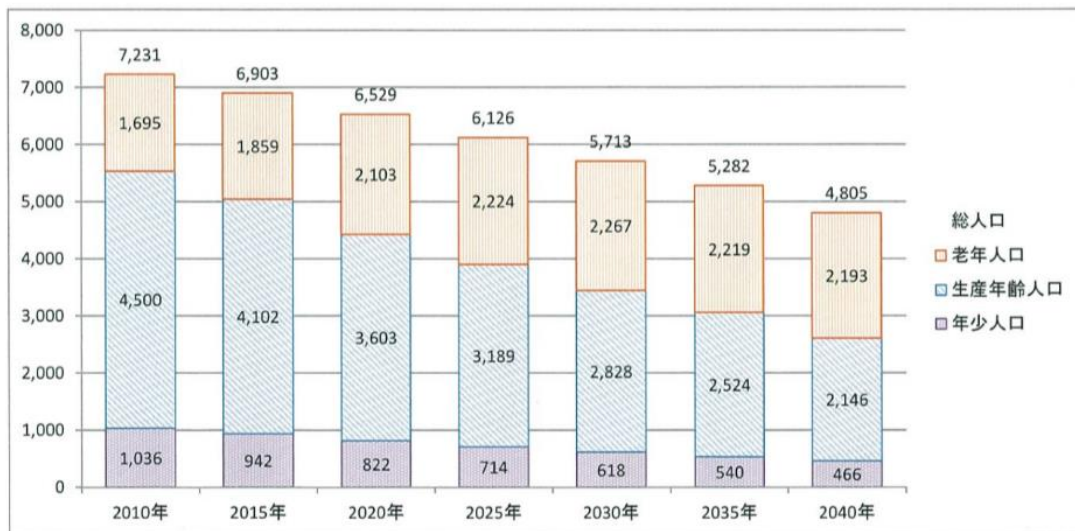
単位：人



資料：まち・ひと・しごと創生本部配布のワークシートより作成。

図表 22 日本創成会議による人口推計（パターン２）

単位：人



資料：まち・ひと・しごと創生本部配布のワークシートより作成。

3－2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

（１）学校施設の配置状況

以下に、本村の小学校２校、中学校２校の配置を示します。



(2) 学校施設の学級数、児童生徒数、教員数の推移

①学級数の推移

2004 年以降の学級数の推移をみると、小学校にあっては、川辺小学校が玉川第一小学校と統合する以前の 2014 年までは、学級数 21～24、特別支援学級数は 0～3 で推移していましたが、川辺小学校が玉川第一小学校と統合した 2015 年以降は、学級数 16～17、特別支援学級数は 2015～2017 年は 0 ですが、2018 年は 7 となっています。

中学校にあっては、2016 年までは学級数が 8～11、特別支援学級数が 0～2 で推移していましたが、近年（2017 年、2018 年）は、学級数が 14～15、特別支援学級数が 10～11 と増加しています。

■学級数の推移

毎年 5 月 1 日現在

学級数	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
玉川第一小学校	学級数	9	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	11	11
	特別支援学級数	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	2	2	2
川辺小学校	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	-	-	-	-
	特別支援学級数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
須釜小学校	学級数	6	7	7	7	6	6	6	6	7	6	6	6	6	6
	特別支援学級数	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小学校合計	学級数	21	24	24	24	23	22	22	22	23	22	16	17	17	17
	特別支援学級数	3	1	3	3	1	1	1	0	1	1	1	2	2	3
泉中学校	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5
	特別支援学級数	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1
須釜中学校	学級数	5	4	4	4	5	4	4	3	3	3	4	3	3	3
	特別支援学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1
合計	学級数	11	10	10	10	11	10	10	9	9	9	10	8	8	8
	特別支援学級数	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0	0	1	2	2

②児童生徒数の推移

小学校の児童数は、2004 年は 495 名でしたが、その後減少傾向にあり、2018 年は 360 名と、2004 年に比べて 15 年で 135 名減少、割合として 27%減少しています。

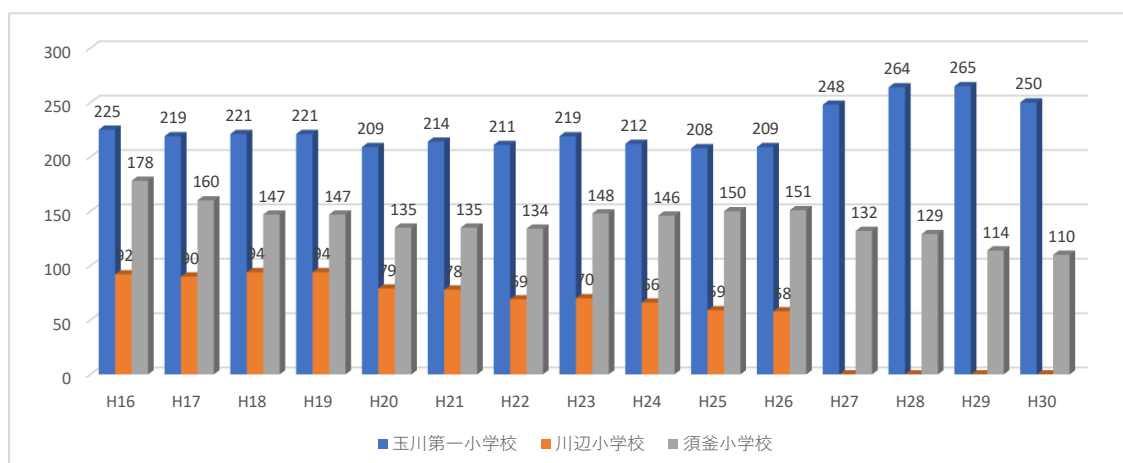
中学校の生徒数は、2004 年は 275 名でしたが、その後減少傾向にあり、2018 年は 194 名と、2004 年に比べて 15 年で 81 名、割合として約 30%減少しています。

■児童生徒数の推移

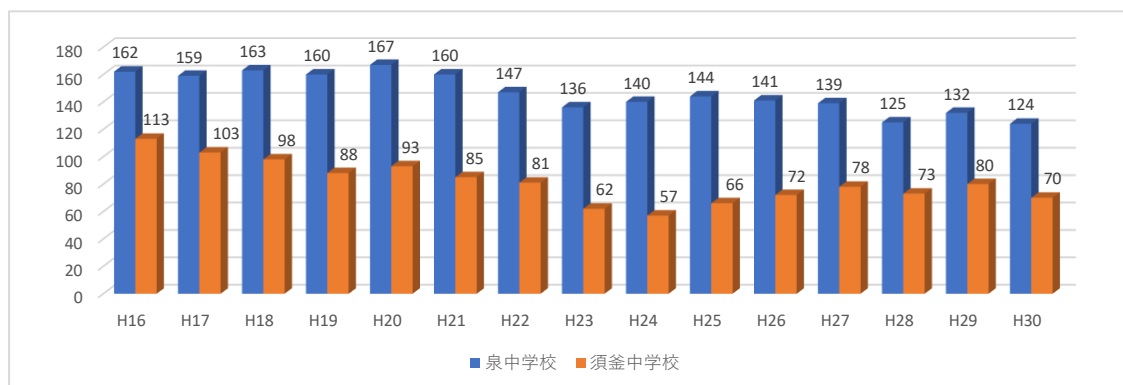
毎年 5 月 1 日現在

児童数 生徒数	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
玉川第一小学校	225	219	221	221	209	214	211	219	212	208	209	248	264	265	250
川辺小学校	92	90	94	94	79	78	69	70	66	59	58	-	-	-	-
須釜小学校	178	160	147	147	135	135	134	148	146	150	151	132	129	114	110
小学校合計	495	469	462	462	423	427	414	437	424	417	418	380	393	379	360
泉中学校	162	159	163	160	167	160	147	136	140	144	141	139	125	132	124
須釜中学校	113	103	98	88	93	85	81	62	57	66	72	78	73	80	70
中学校合計	275	262	261	248	260	245	228	198	197	210	213	217	198	212	194

■小学校児童数の推移



■中学校生徒数の推移



③教員数の推移

小学校の教員数は、2005～2007年の48名がピークでしたが、川辺小学校が玉川第一小学校と統合する以前の2014年までは減少傾向にありました。川辺小学校が玉川第一小学校と統合した2015年以降は、25～30名を推移しています。

中学校の教員数は、2004年及び2006～2007年の31名をピークに減少傾向にあり、2018年の教員数は25名となっています。

■教員数の推移

毎年5月1日現在

教員数	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
玉川第一小学校	17	19	20	20	18	17	16	17	16	17	16	14	19	17	17
川辺小学校	14	13	14	14	11	10	10	9	10	9	9	-	-	-	-
須釜小学校	13	16	14	14	11	10	11	11	11	12	11	11	11	11	12
小学校合計	44	48	48	48	40	37	37	37	37	38	36	25	30	28	29
泉中学校	17	16	17	17	14	14	14	15	13	15	14	14	13	14	14
須釜中学校	14	14	14	14	13	12	11	10	10	11	10	10	10	11	11
中学校合計	31	30	31	31	27	26	25	25	23	26	24	24	23	25	25

(3) 学校施設の関連経費の推移

過去5年間（平成24年度～平成29年度）の学校施設の関連経費（光熱水費及び維持修繕費）の推移を以下に示します。

光熱費は各年各学校2,000千円前後で推移していますが、玉川第一小学校は、川辺小学校との統合に伴う児童数に増加により増加傾向にあります。泉中学校は生徒数は減少しているものの増加傾向にあります。

維持修繕費は、年度による差が見られますが、建築年次が古く老朽度が高い玉川第一小学校で高くなっています。

■施設関連費の推移

単位：千円

玉川第一小学校	25	26	27	28	29	H25-29 平均
光熱水費	1,866	2,134	2,343	2,453	2,689	2,297
維持修繕費	2,046	5,072	2,818	2,558	1,521	2,803

須釜小学校	25	26	27	28	29	H25-29 平均
光熱水費	1,928	2,107	2,030	1,882	2,044	1,998
維持修繕費	876	3,602	877	703	1,569	1,525

泉中学校	25	26	27	28	29	H25-29 平均
光熱水費	1,991	2,218	2,342	2,458	2,475	2,297
維持修繕費	1,933	2,083	859	2,343	1,051	1,654

3小中合計	25	26	27	28	29	H25-29 平均
光熱水費	1,991	2,218	2,342	2,458	2,475	2,297
維持修繕費	1,933	2,083	859	2,343	1,051	1,654

（注）転用が予定されている須釜中学校の施設関連費は除く。

第4章 学校施設の老朽化状況の実態把握

4-1. 老朽化状況の実態把握対象施設

本村の学校施設のうち、老朽化状況の実態把握を行う施設は、学校3校（玉川第一小学校、須釜小学校、泉中学校）のうち、延床面積が50㎡以上の施設を対象とします。

なお、将来的な転用が予定されている須釜中学校については、2019年度に転用後の長寿命計画を策定予定のため、本調査では老朽化状況の実態把握を行わないこととしました。

■対象施設一覧

用途種別	施設名称	建物名	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造
学校施設	玉川第一小学校	校舎	2,744.00	S43	RC
		体育館	712.00	S45	S
	須釜小学校	校舎	2,236.00	S47	RC
		体育館	648.00	S48	S
		プール附属棟	90.14	S48	
	泉中学校	校舎	3,562.00	H2	RC
		体育館	1,617.00	H3	S
		部室	147.00	H3	S
	須釜中学校	校舎	2,761.00	H3	RC
		体育館	1,193.00	H2	S
		部室	147.00	H6	S
		プール附属棟	126.35	H8	RC

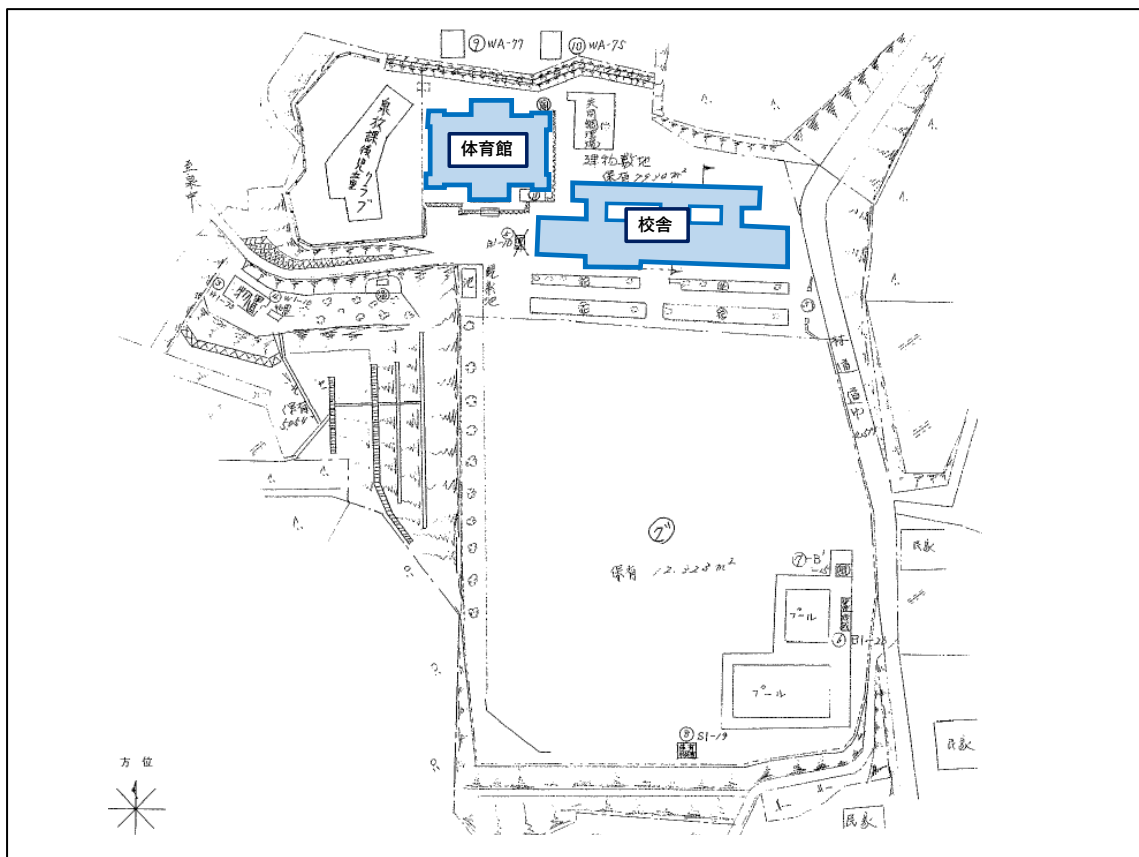
注）須釜中学校の各施設の老朽化状況の実態把握は行わない。

玉川第一小学校の校舎にあっては、平成10年度に耐震補強とともに大規模改修が行われています。同小学校の体育館にあっては、平成22年に耐震補強工事が行われています。

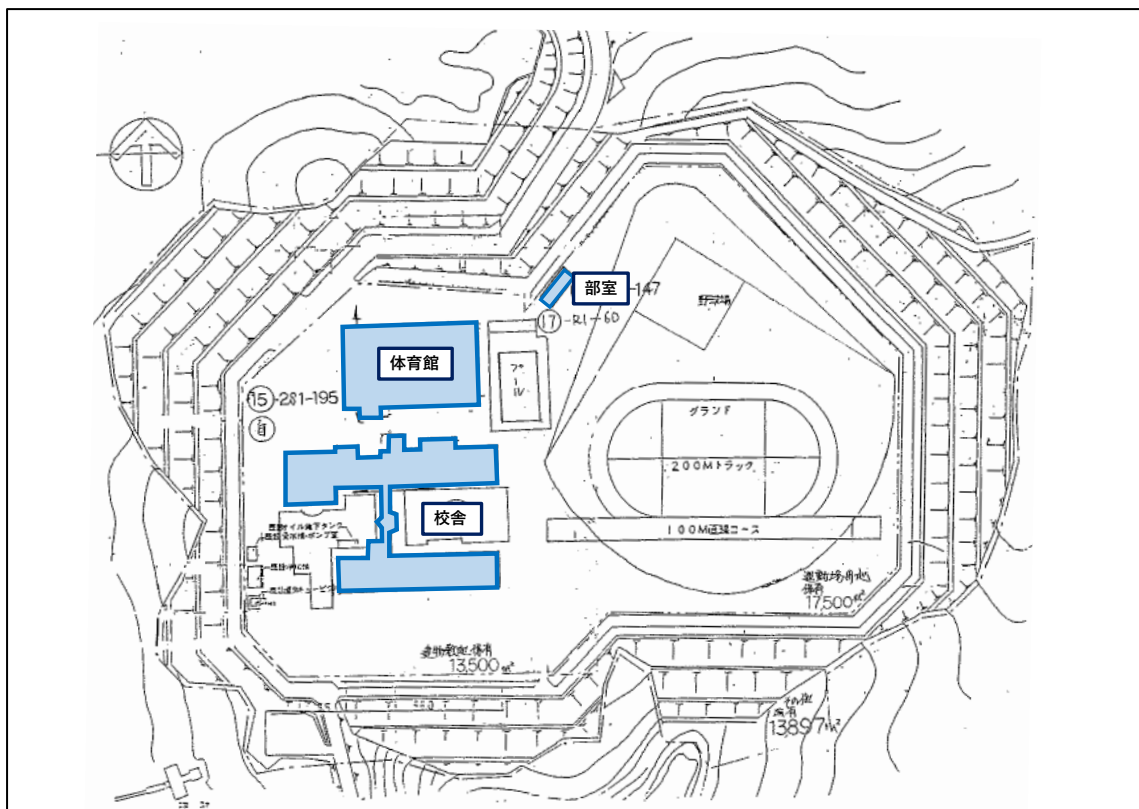
須釜小学校の校舎にあっては、平成17年度に大規模改修が行われています。同小学校の体育館にあっては、平成22年に耐震補強工事が行われています。

泉中学校の施設は、これまでに大規模な改修等は行われていません。

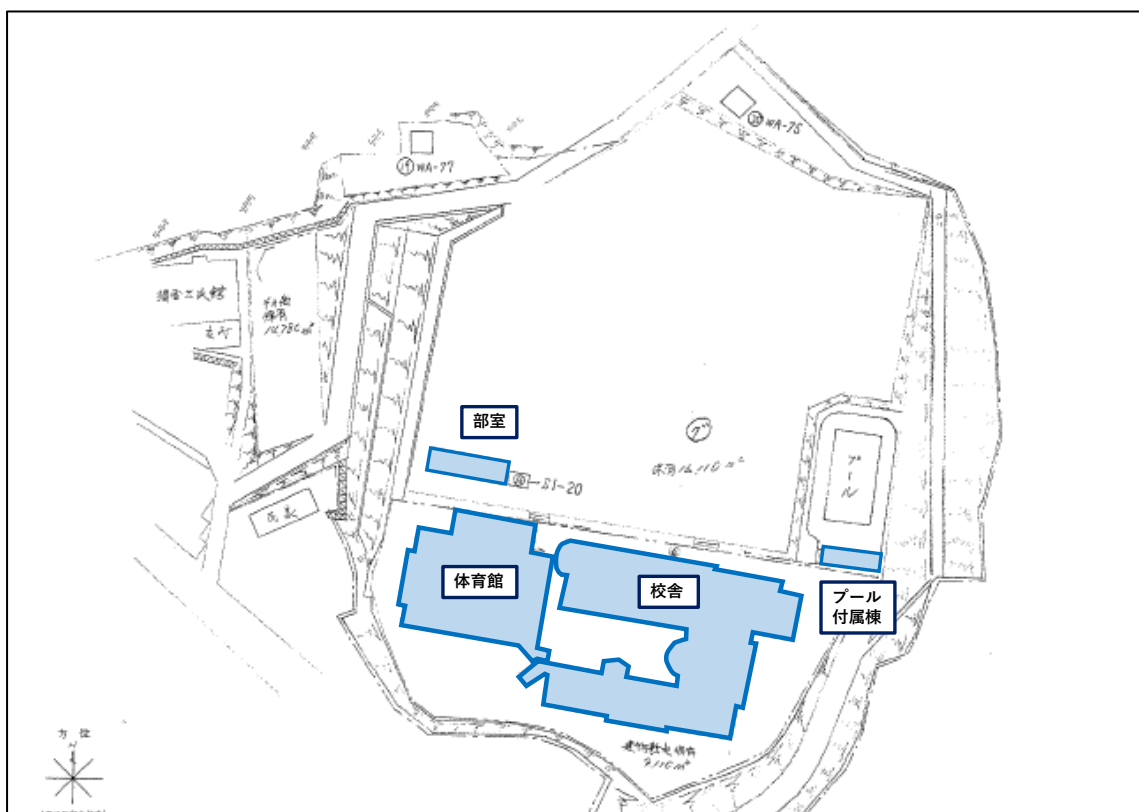
■玉川第一小学校配置図



■泉中学校配置図



■須釜中学校配置図



4－2．構造躯体の健全性の把握

従来の考え方による、建築から 60 年を目安に建て替えるのではなく、80 年度程度の長期間にわたって建物を使用するためには、構造躯体が健全であることが必要です。このため長寿命化改修に適さない可能性がある建物については、今後の維持・更新コストを試算する上では「改築」と区分して算定することになります。

「改築」と「長寿命（長寿命化改修）」の区分を明らかにするに、すでに実施している耐震診断の結果等をもとに、長寿命化改修に適さない可能性がある建物を簡易に選別します。

なお、個別計画策定段階の簡易な判定として、以下のような判定方法が考えられます。

【計画策定段階の判定】

- 旧耐震基準の鉄筋コンクリート造の建物については、耐震診断報告書に基づき、コンクリート 圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下のもの、及び圧縮強度が不明のものは「要調査」建物とし、試算上は「改築」とする。
- 旧耐震基準の鉄骨造、木造等の建物については、現地調査結果を基に判断し、概ね建築後 40 年以上で腐食や劣化の著しいものは「要調査」建物とし、試算上は「改築」とする。
- 上記以外は、試算上の区分を「長寿命」とする。

なお、本村の学校施設にあって、昭和 56 年(1981 年)以前の旧耐震基準にて建築されているのは、玉川第一小学校の校舎と体育館、須釜小学校の校舎と体育館です。これら施設にあっては、以下のとおり耐震診断および耐震補強が行われており、構造躯体の健全性の面からはすべての建物が「長寿命」に区分され则认为します。

4－3．躯体以外の劣化状況把握

（１）劣化状況の把握方法

学校施設の構造躯体以外の老朽度状況を把握するために、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上げ」、「電気設備」、「機械設備」の５つの部位に分けて劣化点検を行いました。

劣化点検の実施にあつては、「屋根・屋上」、「外壁」については目視による点検を行い、「内部仕上げ」、「電気設備」、「機械設備」については、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に、Ａ～Ｄの４段階の判定を行いました。

■目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり／躯体の耐久性に影響を与えている／設備が故障し、施設運営に支障を与えている 等）

■経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準
A	20年未満
B	20年～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず、著しい劣化事象がある場合

（２）健全度の算定方法

各建物の５つの部位について劣化状況を４段階で評価し、100点満点で数値化します。

①各部位の評価点と、②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定しました。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60

③健全度

総和（部位の評価点 ×部位のコスト配 分）÷60

■劣化状況点検シート

通し番号			
学校名		学校番号	調査日
建物名			記入者
棟番号		建築年度	年度(年度)
構造種別	延床面積	m ²	階数
			地上 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☐ 降雨時に雨漏りがある			
	☐ アスファルト露出防水			☐ 天井等に雨漏り痕がある			
	☐ シート防水、塗膜防水			☐ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☐ 笠木・立上り等に損傷がある			
	☐ その他の屋根 ()			☐ 樋やルーフトレを目視点検できない			
				☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☐ 塗仕上げ			☐ 鉄筋が見えているところがある			
	☐ タイル張り、石張り			☐ 外壁から漏水がある			
	☐ 金属系パネル			☐ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☐ タイルや石が剥がれている			
	☐ その他の外壁 ()			☐ 大きな亀裂がある			
	☐ アルミ製サッシ			☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 銅製サッシ			☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
				☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修			
	☐ エコ改修			
	☐ トイレ改修			
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
4 電気設備	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☐ その他、内部改修工事			
	☐ 分電盤改修			
5 機械設備	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
	☐ 給水配管改修			
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0 / 100点

(3) 劣化状況の実施結果

① 玉川第一小学校の劣化状況把握

■点検チェックシート（玉川第一小学校：校舎）

通し番号				調査日		
学校名	玉川第一小学校	学校番号			記入者	
建物名	校舎棟					
棟番号			建築年度	昭和43 年度 (1968 年度)		
構造種別	RC	延床面積	2,744 m ²	階数	地上 3 階 地下 階	

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	1	1階階段室	B
2 外壁	☒ 塗仕上げ ☒ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 銅製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☒ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある	2	西側昇降口 特別支援準備室	

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☒ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			C
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

1階階段室に雨漏りが見られる。また、西側昇降口、特別支援準備室のサッシ廻りにも漏水痕がある。
 防火扉はラッチが機能しなくなっており、ほぼ全ての扉で床ストッパーが必要な状況になっている。
 廊下には光が入りにくく、特に1階の廊下は暗くなることから、ダウンライトの球を高輝度のものに変更する等の対応を検討する必要がある。
 2階西側の男子便所は詰まりやすく、異臭がすることがある。トイレが結露しやすいことから換気量が不足していることも考えられる。また、3階西側女子便所にも排水不能で使用できない便器がある。

健全度

48 / 100点

■点検チェックシート（玉川第一小学校：体育館）

通し番号					
学校名	玉川第一小学校	学校番号		調査日	
建物名	体育館	記入者			
棟番号		建築年度	昭和45 年度 (1970 年度)		
構造種別	S	延床面積	712 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフレンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			B
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 銅製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			C
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			C
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 内部仕上、電気・機械設備は、経年による評価。

健全度
53 / 100点

■主な目視調査の状況写真（玉川第一小学校）

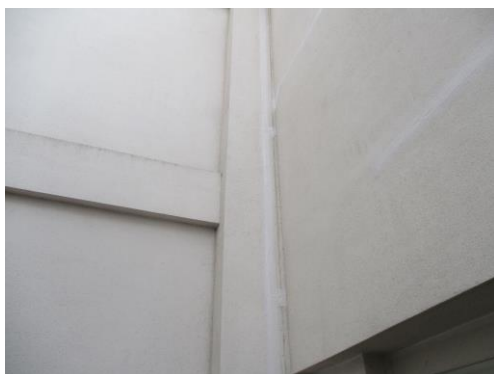
▼屋上（平成 11 年度にシート改修を実施）



▼昇降口庇の塗装剥がれ



▼中庭外壁のクラック補修痕



▼中庭外壁の汚れ



▼廊下の照度が低い



▼非常ドアのストッパー不良



▼図書室内壁のクラック



▼臭気のあるトイレ



① 須釜小学校の劣化状況把握

■点検チェックシート（須釜小学校：校舎）

通し番号					
学校名	須釜小学校	学校番号		調査日	
建物名	校舎棟			記入者	
棟番号		建築年度	昭和47 年度 (1972 年度)		
構造種別	RC	延床面積	2,236 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☐ 降雨時に雨漏りがある				B
	☐ アスファルト露出防水			☐ 天井等に雨漏り痕がある				
	☒ シート防水、塗膜防水			☐ 防水層に膨れ・破れ等がある				
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある				
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☐ 笠木・立上り等に損傷がある				
	☐ その他の屋根 ()			☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない				
	☐ 既存点検等で指摘がある							
2 外壁	☒ 塗仕上げ			☐ 鉄筋が見えているところがある				B
	☐ タイル張り、石張り			☐ 外壁から漏水がある				
	☐ 金属系パネル			☐ 塗装の剥がれ				
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☐ タイルや石が剥がれている				
	☐ その他の外壁 ()			☐ 大きな亀裂がある				
	☒ アルミ製サッシ			☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある				
	☐ 鋼製サッシ			☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある				
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽				
				☐ 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修			B
	☐ エコ改修			
	☐ トイレ改修			
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☐ その他、内部改修工事			
4 電気設備	☐ 分電盤改修			B
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修			B
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 外壁は補修痕が多いことから、劣化状況が思わしくない部分は既に補修されている。
 全体的に経年による劣化はあるが、早急に対応が必要な劣化は見られない。

健全度
75 / 100点

■点検チェックシート（須釜小学校：体育館）

通し番号					
学校名	須釜小学校	学校番号		調査日	
建物名	体育館	記入者			
棟番号		建築年度	昭和48 年度 (1973 年度)		
構造種別	S	延床面積	648 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			B
2 外壁	☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			C
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			C
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 屋根、外壁も含めて全体的に目立った劣化は見られない。築年数が40年以上経過していることから、内部仕上、電気・機械設備は経年により評価Cとした。

健全度
53 / 100点

■点検チェックシート（須釜小学校：プール付属棟）

通し番号					
学校名	須釜小学校	学校番号		調査日	
建物名	プール付属棟			記入者	
棟番号		建築年度	昭和48 年度 (1973 年度)		
構造種別		延床面積	90 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			C
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			C

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			C
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			C
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			D

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 機械設備: プールろ過機の動作不良により、評価Dとした。
 その他の項目については、経年による評価。

健全度
36 / 100点

■主な目視調査の状況写真（須釜小学校）

▼屋上



▼外壁のクラック補修痕



▼勝手口庇の塗装剥がれ



▼外壁の塗装剥がれ・クラック



▼外壁の塗装剥がれ・クラック



▼廊下壁のクラック補修痕



▼体育館の内観



▼プール付属棟の外観



② 泉中学校の劣化状況把握

■点検チェックシート（泉中学校：校舎）

通し番号					
学校名	泉中学校	学校番号		調査日	
建物名	校舎棟			記入者	
棟番号		建築年度	平成2 年度 (1990 年度)		
構造種別	RC	延床面積	3,562 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☒ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	1 1	南校舎階段	C	
2 外壁	☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☒ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある		EXP-Jのずれ	C	

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			B
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			B
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			C

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 南校舎階段踊り場の床・天井に漏水痕が見られることから、屋根から水が侵入していると思われる。
 北校舎と渡り廊下の間に設けてあるEXP-J金物がずれて外部側に隙間ができ、そこからコウモリが入り込み糞害が発生している。
 南校舎2階の女子トイレで排水できない便器がある。臭気については、封水が切れている可能性がある。

健全度

58 / 100点

■点検チェックシート（泉中学校：体育館）

通し番号				調査日		
学校名	泉中学校		学校番号			
建物名	体育館			記入者		
棟番号			建築年度	平成3 年度 (1991 年度)		
構造種別	S	延床面積	1,617 m ²	階数	地上 2 階 地下 階	

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☒ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	3		C
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☒ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			B

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			B
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			B
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			B

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 強風時、積雪時に雨漏りが発生している。目視では漏水箇所が分からないため、点検・調査によって漏水箇所を特定する必要がある。

健全度
72 / 100点

■点検チェックシート（泉中学校：部室）

通し番号					
学校名	泉中学校	学校番号		調査日	
建物名	部室			記入者	
棟番号		建築年度	平成3 年度 (1991 年度)		
構造種別		延床面積	147 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトレンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある				B
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☒ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☒ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☒ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある	多数			C

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☐ 校内LAN ☐ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事			B
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☐ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事			B
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事			B

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 外壁の押出成形セメント板に欠けや割れが多数見られる。

健全度
65 / 100点

■主な目視調査の状況写真（泉中学校）

▼底の塗装剥がれ・クラック



▼外壁の塗装汚れ



▼外壁のクラック



▼階段室の水漏れ



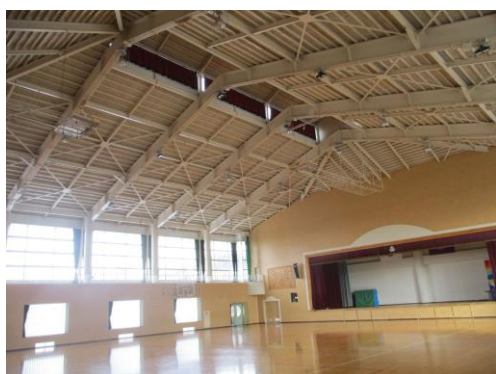
▼トイレの臭気



▼エキスパンジョングジョイント部分の隙間



▼体育館の天井からの雨漏り



▼部室外壁のひび割れ



4－4．構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

① 小学校

本村の小学校 2 校の全ての建物は築年数が 45 年以上で、校舎並びに体育館の耐震化はいずれの小学校でも対応済です。一方、外壁のひび割れや塗装の汚れや剥がれ、電気や機械設備の老朽化が見られ、健全度の点数は、50 点前後が多く、今後部分的な劣化から全体的な劣化に移行しつつある状況です。一方、須釜小学校の校舎にあっては、一部補修等が行われていることもあり、築年数が 46 年であるにも関わらず、健全度が 75 点と高くなっています。

② 中学校

中学校は、泉中学校のみの劣化状況の評価を行います。校舎は築年数が 28 年であるものの、外壁の塗装の汚れや剥がれ、ひび割れが比較的多くみられるほか、室内にあっては水漏れやトイレの設備不良が見られるなど健全度が比較的低くなっています。

■構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

No.	施設名	建物名	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積	西暦	和暦	築年数	基準	耐震診断	耐震補強	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
1	玉川第一小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	2,744	1968	S43	50	旧	実施済 1996	実施済 1998	B	C	C	B	C	48
2		体育館	小学校	体育館	S	2	712	1970	S45	48	旧	実施済 2008	実施済 2010	B	B	C	C	C	53
3	須釜小学校	校舎	小学校	校舎	RC	2	2,236	1972	S47	46	旧	実施済 2000	実施済 2002	B	B	B	B	B	75
4		体育館	小学校	体育館	S	2	648	1973	S48	45	旧	実施済 2011	実施済 2012	B	B	C	C	C	53
5		プール附属棟	小学校	その他		1	90	1973	S48	45	旧	－	－	C	C	C	C	D	36
6	泉中学校	校舎	中学校	校舎	RC	2	3,562	1990	H2	28	新	－	－	C	C	B	B	C	58
7		体育館	中学校	体育館	S	2	1,617	1991	H3	27	新	－	－	C	B	B	B	B	72
8		部室	中学校	その他	S	1	147	1991	H3	27	新	－	－	B	C	B	B	B	65

4－5．劣化状況の実態を踏まえた課題の整理

構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価を踏まえ、各学校施設の健全度評価及び課題を以下に整理します。

■老朽度調査における健全度評価・課題の整理

玉川第一 小学校	校舎	・1階階段室に雨漏りが見られる。また、西側昇降口、特別支援準備室のサッシ廻りにも漏水痕がある。 ・防火扉はラッチが機能しなくなっており、ほぼ全ての扉で床ストッパーが必要な状況になっている。 ・廊下には光が入りにくく、特に1階の廊下は暗くなることから、ダウンライトの球を高輝度のものに変更する等の対応を検討する必要がある。 ・2階西側の男子便所は詰まりやすく異臭がすることがある。トイレが結露しやすいことから換気量が不足していることも考えられる。また、3階西側女子便所にも排水不能で使用できない便器がある。
	体育館	・窓枠が鉄サッシで、強風時に窓ガラスが割れにくいなどの不良が見られる。 ・内部仕上（塗装剥がれ、戸の建付け不良）、電気（照明暗い）などの経年による劣化・不良が見られる。
須釜 小学校	校舎	・外壁は補修痕が多いことから、劣化状況が思わしくない部分は既に補修されている。 ・全体的に経年による劣化はあるが、早急に対応が必要な劣化は見られない。
	体育館	・屋根、外壁も含めて全体的に目立った劣化は見られない。 ・築年数が40年以上経過していることから、内部仕上、電気・機械設備の経年劣化はみられる。
	プール 附属棟	・機械設備において、プールろ過機の動作不良が見られ、早急な対応が必要である。 ・その他については、経年による劣化が見られる。
泉中学校	校舎	・南校舎階段踊り場の床・天井に漏水痕が見られることから、屋根から水が侵入していると思われる。 ・北校舎と渡り廊下の間に設けてある EXP-J 金物がずれて外部側に隙間ができ、そこからコウモリが入り込み糞害が発生している。 ・南校舎2階の女子トイレで排水できない便器がある。臭気については、封水が切れている可能性がある。 ・外壁等に塗装の剥がれや汚れが見られる。
	体育館	・強風時、積雪時に雨漏りが発生している。目視では漏水箇所が分からないため、点検・調査によって漏水箇所を特定する必要がある。
	部室	・外壁の押出成形セメント板に欠けや割れが多数見られる。

第5章 学校施設整備の基本的な方針等

5-1. 玉川村公共施設等総合管理計画を踏まえた学校施設の管理方針

(1) 玉川村公共施設等総合管理計画における適正管理に関する基本的な考え方

「玉川村公共施設等総合管理計画」では、本村の総人口の減少などに伴う社会情勢の変化や厳しい財政見通しなどを踏まえ、中長期的かつ総合的な視点に立ち、公共施設等を計画的に維持管理するとともに、将来にわたり、村民の理解を得ることのできるサービス水準を確保していくための管理等に関する基本的な考え方を設定しています。

設定にあたっては、「柱1 施設保有量の適正化」、「柱2 管理運営の効率化」、「柱3 安全性の確保と長寿命」の3つを柱としています。

■公共施設等の適正管理のための3つの柱と取組内容

柱	取組内容
柱1 施設保有量の適正化	① 施設の縮小や統合、廃止の推進 ② 施設の新規整備の慎重な検討 ③ 民間施設や近隣自治体施設の活用 ④ むらづくりの方向性を踏まえた検討
柱2 管理運営の効率化	① 経費の削減 ② 収入の確保 ③ PPP手法の活用
柱3 安全性の確保と長寿命	① 継続的に点検、診断、メンテナンスを行っていくことができる体制の整備 ② 長寿命化の推進

(2) 玉川村公共施設等総合管理計画を踏まえた学校長寿命化計画の基本方針

上記、玉川村公共施設等総合管理計画における公共施設等の適正管理のための3つの柱と取組内容を踏まえ、学校長寿命化計画の基本方針を以下のように設定します。

① 学校施設の規模・配置計画等の方針

人口減少、少子高齢化は本村においても喫緊の課題であり、一層の児童生徒数の減少は避けられない状況です。

本村には小学校が2校、中学校が2校ありますが、2019年度をもって、泉中学校と須釜中学校が統合し、泉中学校の校舎を利用して「玉川中学校」として開校することが決定しています。小学校においても、2015年度に、玉川第一小学校と川辺小学校が統合されましたが、将来的な統合の可能性も視野に施設配置の最適化を検討します。

また、学校施設の長寿命化改修または更新時においては、保育・幼児教育及び学校教育の連携強化を図るため、施設の複合化や将来の児童生徒数に応じた施設規模への減築についても検討します。

② 学校施設の改修等の基本的な方針

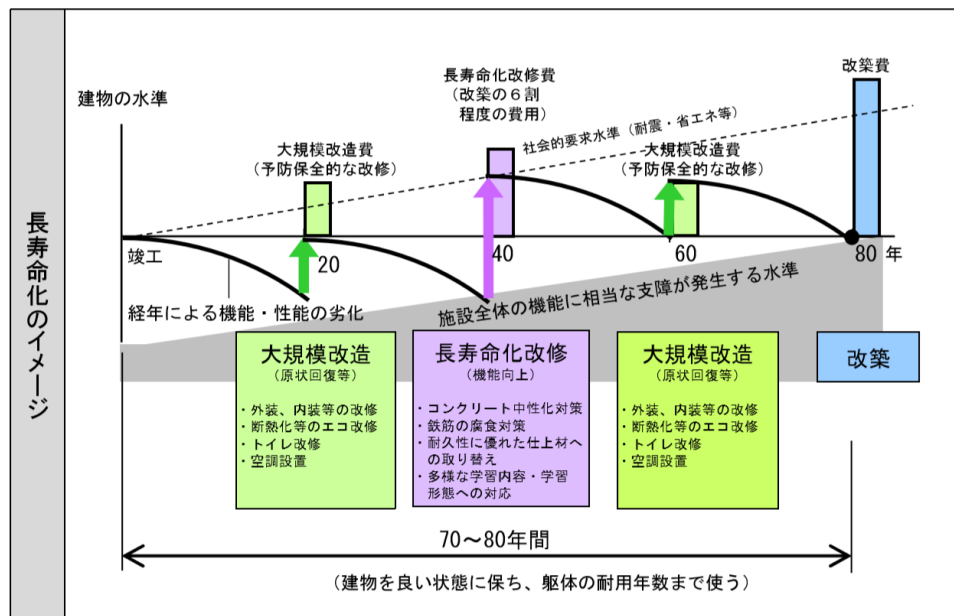
中長期的な維持・改築等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するために、適切な時期に大規模改造や長寿命化改修を実施することを前提に、学校施設の目標耐用年数を80年とします。ただし、建築後40年を経過している施設等、目標耐用年数までの期間が少なく老朽化が著しい建物については、長寿命化改修を行うことが必ずしも財政負担の縮減につながらない可能性があることから、その時の社会情勢や村民ニーズ、財政状況や費用対効果を検証しながら、長寿命化改修の実施の有無について検討していきます。

通常の学校施設の大規模改修の目安は建築時から30年、建て替えの目安は建築時から60年を基準として考えますが、前述した長寿命化の方針に従い、長寿命化改修の実施が適当と判断される施設については、建築後80年まで使用することを目標に、大規模改修を建築後20年と60年、長寿命化改修を建築後40年で実施していくことを基本とします。

目標耐用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期	部位修繕
80年	築20年／60年	築40年	10年以内

注) 長寿命化改修を行わない建物の大規模改修の目安は建築時から30年、建て替えの目安は建築時から60年を基準とする。

■長寿命化のイメージ



出典：学校施設の長寿命化計画策定の手引

③ 基本的方針を踏まえた学校施設の改修等の整備水準

「②学校施設の改修等の基本的な方針」で示したように、施設の安全性の確保及び財政負担の軽減・平準化の観点から、適切な時期に長寿命化改修を実施し、目標耐用年数を80年とした学校施設の長寿命化を図ります。

長寿命化改修では、単に物理的な不具合を直すのみでなく、ライフラインの更新等により建物の耐久性を向上させるとともに、建物のエネルギー効率の向上や環境負荷低減等の観点も取り入れ、かつ建物の機能や性能を学校が求めている水準まで引き上げることを目指します。

■建物の耐久性の向上策例

部位	耐久性の向上策例
屋根・屋上	躯体や建物内部への漏水を防止し建物の劣化を抑えるために、防水材を全面的に設置する。防水材の材料は、供用年数を考慮し、塗膜防水、シート防水及びアスファルト防水等から費用対効果の高いものを選定する。
外壁・内部仕上げ	ひび割れ、浮き及びはく落等の重度な劣化を未然に防止するため、壁面材で部分的又は全面的に被覆し、躯体の劣化現象の進行を遅らせる。壁面材の材料は、塗膜仕上、モルタル仕上及びコンクリート打放し仕上等の中から費用対効果の高いものを選定します。
電気設備・機械設備	設備機器の老朽化対策として、日常点検、消耗部品の定期交換によって故障を未然に防ぐとともに、必要に応じて物理的耐用年数の長い機器を選定する。

④ 維持管理の項目・手法等

今後、学校施設の維持管理を効果的・効率的に実施するために、対象建物の躯体以外の劣化状況把握の際に使用した「劣化状況調査票」を点検項目として設定します。点検は、法定点検と同様に3年に1回とし、点検・評価の結果は同調査票に記入、データベースとして蓄積することにより、将来の老朽化予測や改修検討等に活用します。

■劣化状況点検シート

通し番号				調査日			
学校名				学校番号			
建物名				記入者			
棟番号				建築年度	年度(年度)		
構造種別		延床面積	m ²	階数	地上	階	地下

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフィングを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井)	☐ 老朽改修			
	☐ エコ改修			
(内部建具)	☐ トイレ改修			
(間仕切等)	☐ 法令適合			
(照明器具)	☐ 校内LAN			
(エアコン)等	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☐ その他、内部改修工事			
4 電気設備	☐ 分電盤改修			
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修			
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容及び12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
 0 / 100点

第 6 章 長寿命化の実施計画

6－1. 改修等の実施方針

(1) 玉川村公共施設等総合管理計画における位置づけ

「玉川村公共施設等総合管理計画」では、各学校施設の課題と今後の管理方針について、次のように位置づけています。

玉川第一小学校	・1998 年度に大規模改造・耐震補強工事を実施。適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図る。 <通常の場合の大規模改修、建て替えの目安> - 校 舎…大規模改修 1998 年、建替 2028 年（耐震補強済（1998）） - 体育館…大規模改修 2000 年、建替 2030 年（耐震補強済（2010））
須釜小学校	・2005 年度に大規模改修を実施。適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図る。 <通常の場合の大規模改修、建て替えの目安> - 校 舎…大規模改修 2002 年、建替 2032 年（耐震補強済（2002）） - 体育館…大規模改修 2003 年、建替 2033 年（耐震補強済（2012））
泉中学校	・1991 年度に建築。経年劣化等も徐々にしてきており、大規模な改修が見込まれる。適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図る。 <通常の場合の大規模改修、建て替えの目安> - 校 舎…大規模改修 2021 年、建替 2051 年 - 体育館…大規模改修 2022 年、建替 2052 年

(2) 玉川村学校施設の整備課題と長寿命化の方向性の提案

玉川村学校施設の整備課題を以下に整理します。

玉川第一小学校	・20 年前に大規模改造等が行われているが、外壁や内部仕上げ、設備面での老朽化、不備が目立ち、耐用年数時期での建て替えを視野にいれることが必要である。
須釜小学校	・校舎は比較的良好な状態で維持されており、今後も適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図ることが望ましい。
泉中学校	・2020 年度に泉中学校と須釜中学校が統合し、泉中学校の校舎を利用して、新たな中学校（玉川中学校）として開校するにあって、新たな中学校の生徒数の増加を踏まえ、適切な学習空間の確保、再整備を行うことが必要である。

以上の整備課題に対応するために、玉川村学校施設の長寿命化の方向性について以下の
ように定めます。

■玉川村学校施設の長寿命化の方向性

玉川第一小学校	校舎	・本村における少子化の傾向はつづくことが想定され、将来的に小学校の統合の可能性を視野にいたした学校施設整備について検討することが求められる。 ・長寿命化改修を実施せず、築 60 年での建替えの方向性で検討する。
	体育館	
須釜小学校	校舎	・建物の健全度は高いことから、 大規模改修を行った時期（2005 年）から 20 年での長寿命化改修 を実施する。
	体育館	・建物の健全度は高いことから、 耐震補強を行った時期（2012 年）から 20 年での長寿命化改修 を実施する。
	プール付 属棟	・機械設備の不備への早急対応を行う。 ・建物の老朽化が進んでいることから、長寿命化改修を実施せず、築 60 年での建替えの方向性で検討する。
泉中学校	校舎	・建築後、大規模な改修等が実施されておらず、建物の経年劣化等が見られる。 ・2020 年度に泉中学校と須釜中学校が統合し、泉中学校の校舎を利用して玉川中学校として開校する時期が大規模改修の目安（30 年）と重なることから、2020 年度での長寿命化改修を実施する。
	体育館	
	部室	

6－2．改修等の実施計画

No.	施設名	建物名	構造	階数	延床面積	建築年	築年数	健全度	耐震補強	大規模改修	長寿命化方針	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
1	玉川第一小学校	校舎	RC	3	2,744	1968	50	48	1998	1998	長寿命化改修を実施せず、築60年での建て替えの方向性	←			必要に応じた部位修繕					▶	● 建替					
2		体育館	S	2	712	1970	48	53	2010	－	長寿命化改修を実施せず、築60年での建て替えの方向性	←			必要に応じた部位修繕							● 建替				
3	須釜小学校	校舎	RC	2	2,236	1972	46	75	2002	2005	大規模改修から20年での長寿命化改修の実施	←			必要に応じた部位修繕		←	● 改修	→	←		必要に応じた部位修繕				
4		体育館	S	2	648	1973	45	53	2012	－	耐震補強から20年での長寿命化改修の実施	←											→	←	● 改修	→
5		プール附属棟		1	90	1973	45	36	－	－	機械設備の不備への早急対応＋長寿命化改修を実施せず、築60年での建て替えの方向性	● 設備改修	←									必要に応じた部位修繕				→
6	泉中学校	校舎	RC	2	3,562	1990	28	58	－	－	大規模改修の目安（30年）での長寿命化改修の実施		● 改修	←								必要に応じた部位修繕				
7		体育館	S	2	1,617	1991	27	72	－	－	大規模改修の目安（30年）での長寿命化改修の実施		● 改修	←								必要に応じた部位修繕				
8		部室	S	1	147	1991	27	65	－	－	大規模改修の目安（30年）での長寿命化改修の実施			● 改修	←							必要に応じた部位修繕				

(千円/年)

No.	施設名	建物名	構造	階数	延床面積	建築年	築年数	健全度	耐震補強	大規模改修	改修の方向性	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
1	玉川第一小学校	校舎	RC	3	2,744	1968	50	48	1998	1998	建替え										301,840	301,840	301,840			
2		体育館	S	2	712	1970	48	53	2010	－	建替え												78,320	78,320	78,320	
3	須釜小学校	校舎	RC	2	2,236	1972	46	75	2002	2005	長寿命化改修 (3年に分けて実施)						126,707	126,707	126,707							
4		体育館	S	2	648	1973	45	53	2012	－	長寿命化改修 (3年に分けて実施)													36,720	36,720	36,720
5		プール附属棟		1	90	1973	45	36	－	－	機械設備の不備への早急対応 ＋長寿命化改修を実施せず、 築60年での建て替えの方向性															29,746
6	泉中学校	校舎	RC	2	3,562	1990	28	58	－	－	長寿命化改修 (1年で実施)		90,000													
7		体育館	S	2	1,617	1991	27	72	－	－	長寿命化改修 (1年で実施)															
8		部室	S	1	147	1991	27	65	－	－	長寿命化改修 (1年で実施)			24,990												
計												0	90,000	24,990	0	0	126,707	126,707	126,707	0	301,840	301,840	380,160	115,040	115,040	66,466

6－3．長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

情報等の整備は、文部科学省による学校長寿命化計画策定に係るエクセルソフトについて、過去の改修・交換履歴、故障の発生状況等をデータベースとして蓄積していきます。

今後は日常の点検・評価の結果及び、3年に1回の割合で実施する劣化状況点検に基づいて適切にデータの更新を図り、一元管理していきます。

(2) 推進体制等の整備

本計画は、公共施設等総合管理計画との連携を図りつつ、学校施設を所管する教育委員会と、公共施設を管理する本村が連携を図りながら計画の実現を図ります。

また、学校施設は、地域のコミュニティの核となる施設でもあることから、具体的な取組の実施にあっては、地域の住民や関係団体等との意見交換を行うなど、村民の意見を反映しながら事業化を進めていきます。

(3) フォローアップ

PDCA サイクルの実現計画の推進にあたっては、Plan（策定）→Do（実行）→Check（検証）→Action（見直し）→Plan（計画）という PDCA サイクルを実行し、効率的な事業推進を目指します。

玉川村個別施設計画（学校施設）

平成 31 年 3 月

玉川村総務課